



ふるる Mibu だより

発行：壬生町教育委員会事務局生涯学習課

〒321-0292 壬生町通町 12-22

TEL 0282-81-1873 / FAX 0282-82-0935

E-mail: gakusyu@town.mibu.tochigi.jp

ハートふるる 2days ～未来の自分のための心あたたまる 2日間～

次代を担う中学生と高校生のため、壬生町の7つの部署と団体が手を結び、心がホッコリあたたまり、将来を見つめられるような講座を開催したところ、多数の中学生や高校生が参加し、充実した時間を過ごすことができました。あたたかいご支援とご協力をいただいた皆様、本当にありがとうございました！！

「赤ちゃんとのふれあい交流体験」12/26（水）

企画：壬生町子育て支援センター

講師の相田美智子先生から「いのちのはなし」の講話を聞いたあと、赤ちゃんとの交流を行いました。小さな命のあたたかさ、かけがえのなさを、赤ちゃんとのふれあいを通して体感することができました。



【参加した中学生や高校生の声】

- 講話を聞いて、改めて命の大切さを知ることができ、たくさんの赤ちゃんと交流したり、エピソードを聞いたりして将来のことを考える良い機会になりました。また、赤ちゃんとふれ合う機会があったら参加したいと思いました。
- 命の講話を聞いて「生きているだけで100点満点」という言葉を聞いて、落ち込むことや嫌なことがあっても毎日しっかり生きていこうと思いました。赤ちゃんとふれ合って、やわらかくてあたたかくて小さい命を実感しました。

【一緒に活動した大人の方から】

- 中学生や高校生は、まだまだ学生だと思っていましたが、子供を抱っこしてもらったときの目には母性を感じました。真剣に話を聞いてもらったり、子どもとたくさん遊んでもらったりと、とても嬉しかったです。

「車いすバスケットボールを楽しもう」12/26（水）

企画：壬生町社会福祉協議会

講師の佐々木清美先生から、障がいをもっている人と一緒に楽しめる車いすバスケットの実技体験や福祉についての講話を通して、障がい者との共存について大切なことは何かを考えることができました。



【参加した中学生や高校生の声】

- 福祉や障がいについて学びました。障がいをもつ人は、自分が思っているよりも身近にいるのだと思いました。
- 車いすバスケットは思ったより難しく、自分が思った通りに動けなくて大変だったけど、楽しくて貴重な体験ができた。

「親子遊び支援の体験をしよう！」12/27（木）

企画：壬生町児童館

事前講習会で、手遊び・絵本の読み聞かせ・ふれあい遊び等を学びます。親子遊び支援で、1～2歳児の親子と一緒にふれあいながら、講習会で学んだ手遊びなどの内容を実際に体験することができました。



【 参加した中学生や高校生の声 】

- 手遊びや演劇を練習して子供たちに披露する体験をしました。初めは緊張しましたが、子供たちの笑顔を見たら自然と私も笑顔になってとても楽しかったです。このような体験ができてとても良かったです。次回も参加したいです。
- 最初の練習では、やりきれるか少し不安がありました。しかし、参加したみんなと一緒に練習していくうちに楽しくやることができました。本番では、子供たちの前でずっと笑顔でいられたと思います。児童館の先生が最初に話されていた楽しみながらやるという目標を達成できたと思います。とても楽しく貴重な体験をすることができました。

「コンビニ食材を取り入れた簡単にできる創作料理！～アフタヌーンティーを楽しもう～」

12/27（木） 企画：壬生町子育て支援グループ「ポケット」、壬生町学校栄養士会

コンビニ食材を取り入れた誰でも簡単にできる創作料理をつくりました。参加した皆さんで、アフタヌーンティーパーティーを楽しみました。



【 参加した中学生や高校生の声 】

- グループのみんなと協力して作ることができました。クリームグラタンとクレープがとても美味しかったです。作り方のレシピをもらったので、家でも作ってみたいです。美味しかったし、楽しかったです。ありがとうございました。
- 身近な食材で、すばやく簡単に料理が作れて、とても楽しかったです。班の中で、協力して作ることができました。普段、料理をしない私でも作ってみようと思える料理でした。とても美味しかったです。
- コンビニの食材が工夫しだいでこんなに美味しくなるとは思いませんでした。とても美味しくできたと思います。

【 一緒に活動した大人の方から 】

- 一生懸命に講師の話を聞いて行動していました。わからないことは積極的に質問して取り組んでいました。